



Festina lente

2019 2月号

Highlights

- 第34期生徒会総会が開催!
- 「いじめ対策基本方針」(組織図)
- 後期プレゼン大会行われる!

第34期生徒会総会のようす 2019. 2. 15

第34期生徒会 「始」～新たな一歩を踏み出そう	1
いじめ防止基本方針① 校長 柳井 修	2
いじめ防止基本方針② 対応組織図	3
生徒会総会議案書 生徒会担当 伊東 英陽 強歩大会を実施 体育科主任 阿部 順三	4・5
APU・立命館コース 活動報告(1) APUコース主任 荒金 正治	6
生徒指導部より 指導主任 野村 哲也 保健室より 養護教諭 野村めくみ	7
APU・立命館コース 活動報告(2)	
APU・立命館コース 活動報告(3) 高校・卒業証書授与式のご案内	8

第34期生徒会 「始」～新たな一歩を踏み出そう～

新生徒会役員による、今後の意気込み・抱負をご紹介します。

【生徒会長 松本 悠杜】

新しい変化を求め、伝統を築き上げていきたいと思っています。よろしくお願いします。

【副会長 立川 希光】

全力で生徒会長をサポートしたいと思います。1年間よろしくお願いします。

【副会長 佐藤 明南】

自分のできることを精一杯していきます。1年間よろしくお願いします。

【庶務 南 莉子】

みんなと協力してもっと楽しい学校になるように精一杯頑張ります。

【庶務 江藤 新】

挑戦し続ける1年にしたいと思います。自分を信じ、仲間を信じて進み続けます!

【文化委員会 青木 桃子・山崎 千晴】

文化と全力で向き合っていきたいと思っています。よろしくお願いします。

【体育委員会 小山田 希丞・中野 遥菜】

1年間全力で頑張ります! よろしくお願いします。

【美化委員会 麻生 光真・古井りか】

全校の皆さんときれいな学校にしていきたいと思っています。ご協力よろしくお願ひします! ゴミステーションで待ってます!

【図書委員会 都留 朋子・森田 春香】

皆さんが行きたくくなるような図書館をつくるため新しいことにも挑戦します! 1年間精一杯頑張るのでよろしくお願いします。

【広報委員会 神志那 優汰・谷脇 優華】

皆さんが「また読みたい」と思えるような新聞を作りたいと思います! よろしくお願ひします。

【保健委員会 川野 希実・森 陸翔】

全校の皆さんが健康に過ごせるようにサポートしていきたいと思っています!

【ボランティア委員会 馬渡 怜那・松本 結衣】

ボランティア活動に積極的に参加していくので、ご協力よろしくお願いします。

【生活委員会 衛藤 麗・今吉 楓】

自分たちらしく頑張ります! 1年間よろしくお願ひします。

☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆
2月15日に行われた生徒総会の議案書を4～5ページに掲載しています。併せてご覧下さい。



活発な審議が行われました。

学園だより

「いじめ防止基本方針」と対応組織図について

校長 柳井 修

1. 目的

この基本方針は、本校におけるいじめ防止に係る基本理念および責務を明らかにするとともに、いじめ防止および解決を図るための基本となる事項を定めることにより、生徒が安心して生活し、学ぶことができる環境をつくることを目的とする。

2. 基本理念

- (1) 本校の教育方針である「社会に有為な人材の育成」「きめ細かく、一人ひとりを大切に教育」「自ら学ぶ姿勢を示す意欲的な人材の育成」「公平と正義を重んじ、礼儀やマナーなどの躰を保護者と共に考える教育」を実践し、楽しく安心して中学・高校生活を送り、お互いの人格と権利を尊重する成熟した社会人へと成長できる環境作りの一環として、主体的にいじめ問題に取り組む。
- (2) 本校は、日々の教育活動を通して、いじめが人間の尊厳を踏みじり、基本的な人権を侵害する行為であることを生徒に理解させると共に、いじめは人間として絶対に許されるべき行為ではないとの強い認識を持たせることに努める。

3. 「思いやりや助け合いの心を持って行動できる」生徒を育てる取り組み

- (1) 人権教育の推進

本校の教育の方針に基づく日々の教育活動をはじめ、各教科の授業、生徒会活動、ボランティア活動、総合的な学習の時間、ホームルーム活動、人権講演会、学校行事等に人権教育の視点を位置づけ、いのちの大切さを理解すると共に、他者を認めやさしい配慮ができる生徒の育成をする。
- (2) 体験活動の推進

様々な学校行事と本校が従来推進してきたボランティア活動などを通して、生徒同士がお互いをよく知ると共に、相互扶助の心を育成する。
- (3) 特別活動の充実

集団や社会の一員としてよりよい生活や人間関係を構築する力を育むことを目的として、ホームルーム活動、生徒会活動、部活動、キャリア教育、その他の学校行事の指導の充実を図る。

4. いじめの未然防止のための取組み

- (1) 授業改善

研究授業、教員研修、授業評価アンケート等を通して、生徒にとって楽しくてわかる授業の実践に努め、生徒の学ぶ意欲と自己有用感を高める。
- (2) 教育相談体制の充実

朝終礼、ホームルーム活動、授業等において、担任および教科担当が生徒の小さな変化にも気づくことができるよう常に細心の注意を払う努力をする。また、定期的にクラス担任は個別面談を行い、人間関係での悩み等を聞き取ると同時に、養護教諭や人権学習主任との連携協力を図り、適切な助言やクラス全体への働きかけができるよう努める。
- (3) いじめの起きない学校風土づくり

いじめは人間として絶対に許されないことを日々の学校生活を通して訴え続け、生徒が安心して学校生活を送れる環境作りを努める。
- (4) 生徒への啓発

いじめに関する注意喚起を機会あるごとに行くと同時に、生徒会を中心として生徒自らがいじめは絶対に許されない行為であるという意識を高める活動を推進していく。また、生徒だけではなく保護者にもSNS等インターネット上でのいじめに関する現状と対策について外部講師による講演会を実施していじめ防止への理解と協力を求める。
- (5) コミュニケーション能力の育成

(アサーティブな対応ができる生徒を育てる。)
「相手のことを思いやる大切さ」、
「自分の気持ちを伝える大切さ」を認め、それを行動化できる生徒を育成することを人権教育の目標に掲げる。

5. いじめの早期発見のための取組み

- (1) 積極的ないじめの認知

朝終礼、ホームルーム活動、授業等で生徒の表情やしぐさをきめ細かく観察すると共に、わずかな変化に対してもいじめの兆候ではないかとの疑いを持ち、教育相談や養護教諭、スクールカウンセラーと連携しながら積極的にいじめを認知するよう努める。
- (2) 自己チェックシステムの活用

生徒が定期的に自分の生活を振り返るための自己チェックを行い、それをクラス担任が確認することにより、い

じめ等の早期発見に努める。

- (3) アンケートの実施

定期的にいじめ等の実態調査を行い、問題の早期発見に努める。
- (4) 保護者との連携

日頃から担任と保護者との連絡を密に行い、保護者がどんな些細なことでも担任に相談できる環境作りに努める。また、量販店や駅などの関係機関との連携を進め、地域での生徒の様子を把握する。さらに、担任以外にも養護教諭、スクールカウンセラーと相談できる旨を周知し、問題の早期解決を図る。
- (5) 外部機関との連携

大分中央警察署や大分県こころとからだの相談支援センター等の外部機関と定期的に情報交換する中で、学校外におけるいじめ等問題行動の早期発見に努める。

6. いじめの早期解決に向けた取組み

- (1) 組織的対応

特定の教職員で抱え込まず、学年・コース主任をはじめ必要ならば教頭や養護教諭とも速やかに情報を共有しながら問題解決を図る。「いじめ対応サポート班」を立ち上げた場合は、班員で協議を重ね問題解決に向けて計画の立案と適切な対応により、被害生徒を守り通す。一方、加害生徒に対しては教育的配慮の下、毅然とした態度で指導に当たる。
- (2) 被害生徒・加害生徒への迅速な対応

複数の関係者からの情報収集および事実確認をした上で、被害生徒の安全を最優先に考え、加害生徒に対しては毅然とした態度で指導に当たる。
被害生徒に対して、継続的なカウンセリングを行うなどメンタル面のサポートを十分に行い、一日も早く安心して学校生活を送れるよう努める。
加害生徒に対して、いじめに至った背景等をカウンセリング等により聞き取り、本生徒の立ち直りと再発防止に努める。
- (3) 保護者との連携

被害生徒および加害生徒の保護者に対して、家庭訪問等によりいじめの状況と今後の対応について十分な説明を行い、理解と指導についての協力を得る。



(4) 外部機関との連携

必要に応じて、大分中央警察署や大分県心とからだの相談支援センター等の外部機関と連携を取りながら早期解決に向けた最善の方法を講じる。犯罪行為として取り扱われるべき事案については、学校法人および大分中央警察署等と連携して対処する。また、必要に応じて大分地方方法務局や大分県中央児童相談所と連携を取りながら、いじめの被害者や加害者への適切な対応について教示を得る。

7. いじめ問題に取り組むための

校内組織

(1) いじめ対策委員会

いじめを未然に防ぐための指導方法や対策を協議するために、次の機能を担う「いじめ対策委員会」を設置し、必要に応じて開催する。

(構成員)

校長、教頭、生徒指導主任、人権学習主任、寮監長、学年主任、養護教諭 (活動)

- ・いじめ問題対応の年間計画の作成
- ・校内のいじめの現状把握と指導方針
- ・対策の決定 ・学校におけるいじめ問題への取組みの点検

(2) いじめ対応サポート班

いじめが起きた時、次の機能を担う「いじめ対応サポート班」を設置し、いじめの早期解決に向けた取組みを行う。

(構成員)

生徒指導主任、人権学習主任、養護教諭、スクールカウンセラー、当該学年主任、当該学級担任、当該教科担任、当該部活動顧問等

(活動)

- ・当該いじめ事案の対応方針の決定
- ・当該いじめ事案の対応経過確認および対応方針の修正

8. 重大事態への対処

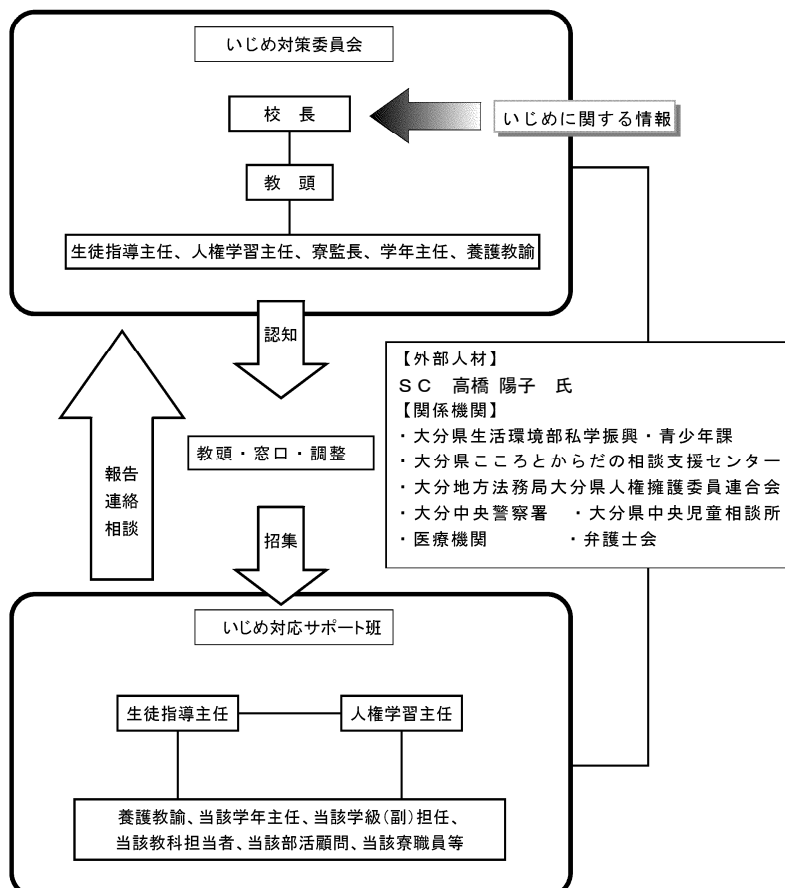
生命、心身又は財産に重大な被害が生じた疑いや相当の期間学校を欠席することを余儀なくされている疑いがあるときは、次の対処を行う。

- (1) 重大事態が発生した旨を学校法人および大分県生活環境部私学振興・青少年課を通じて知事に速やかに報告する。
- (2) 学校いじめ調査委員会が行う事実関係を明確にするための調査に協力する。

9. 学校評価における留意事項等

毎年実施している保護者アンケートにいじめ問題に適正に対処しているか学校評価を行う項目に加え、本校の取組みを評価する。

岩田中学校・高等学校 いじめ問題対応組織図



【チェックシート1】

1 いじめられている生徒のサイン

いじめられている生徒は自分から言い出せないことが多い。多くの教員の目で多くの場面で生徒を観察し、小さなサインを見逃さないことが大切である。

場面	サイン
登校時 朝のSHR	<input type="checkbox"/> 遅刻・欠席が増え、理由を明確に言わない <input type="checkbox"/> 教員と視線を合わせず、うつむいている <input type="checkbox"/> 体調不良を訴える <input type="checkbox"/> 提出物を忘れて、期限に遅れる <input type="checkbox"/> 担任が教室に入室後、遅れて入室してくる
授業中	<input type="checkbox"/> 保健室・トイレに行くようになる <input type="checkbox"/> 教材等の忘れ物が目立つ <input type="checkbox"/> 机周りが散乱している <input type="checkbox"/> 決められた席と異なる席に着いている <input type="checkbox"/> 教科書・ノートに汚れがある <input type="checkbox"/> 突然個人名が出される
休み時間等	<input type="checkbox"/> 弁当にいたずらをされる <input type="checkbox"/> 昼食を教室の自分の席で食べない <input type="checkbox"/> 用のない場所にいることが多い <input type="checkbox"/> ぶざけ合っているが表情がさえない <input type="checkbox"/> 衣服が汚れていたりしている <input type="checkbox"/> 一人で清掃している
放課後等	<input type="checkbox"/> 慌てて下校する。または、用もないのに学校に残っている <input type="checkbox"/> 持ち物がなくなったり、持ち物にいたずらされる <input type="checkbox"/> 一人で部活動の準備、片付けをしている

2 いじめている生徒のサイン

いじめている生徒がいることに気付いたら、積極的に生徒の中に入り、コミュニケーションを増やし、状況を把握する。

サイン
<input type="checkbox"/> 教室等で仲間同士で集まり、ひそひそ話をしている <input type="checkbox"/> ある生徒にだけ、周囲が異常に気を遣っている <input type="checkbox"/> 教員が近づくと、不自然に分散したりする <input type="checkbox"/> 自己中心的な行動が目立ち、ボスの存在の生徒がいる

毎年、本校の生徒総会は2月に、仮卒で不在の高3をのぞく中1～高2の生徒で行われます。

11月の会長選挙を経て新生徒会が発足し、総会で今後1年の活動について、各委員会からの議案が説明→審議→承認されます。

また、各委員会の提案内容については、総会で承認され、その後、学校運営上において問題がないものが実施されます。

執行部を中心に昼休みや放課後を使って、一生懸命取り組んだ初仕事になります。総会ではいろんな質問や意見が出ますが、今後の活動にいかしてほしいと思います。

◇執行委員会

【生徒会長】松本 悠社

【副会長】佐藤明南・立川希光

【庶務】南莉子・江藤新

〈スローガン〉**彩 ～岩田生の輝くキャンパス～**

〈活動内容〉

1. 「生徒会活動報告書」を作成し、各クラスに配布
→全校生徒に生徒会活動の詳細を知ってもらう。
→広報委員と共同で作成。
2. 全校生徒に臨時アンケートを実施
→生徒会や学校への要望などを書いてもらう。
※生徒会が実施を希望する事項について生徒の意見を参考にする。
3. 学園祭中のスタッフ・学園祭Tシャツでの下校許可
→下校をスムーズに行うため。
4. 強歩大会から鍛錬遠足への変更
→他学年同士の繋がりを深める。
5. 学園祭の企画・運営

◇美化委員会

【委員長】麻生 光真

【副委員長】古井りか

〈スローガン〉**善心美化 ～掃除美人は心美人～**

〈活動内容〉

1. 美化クラスマッチの実施
→月に1回、掃除中の見回り。採点は委員長と副委員長が抜き打ちで行う。
※採点基準は後日教室掲示をする。
2. ゴミ箱付近にゴミ分別表の掲示
3. 掃除用具の点検
→全掃除道具のチェック表を作って、1か月に1回各学年の美化委員でチェックする。

→交換が必要な場合は、各クラスの美化委員から美化委員長または副委員長に報告する。

4. ゴミ箱のふきあげ

→各学期の最後の週に、学年ごとに各クラスのゴミ箱を掃除する。

◇文化委員会

【委員長】青木 桃子

【副委員長】山崎 千晴

〈スローガン〉**未来の文化**

〈活動内容〉

1. ベルマークの収集
 - ・一学期のベルマーク収集結果をもとに、学園祭の生徒会賞で加点する。
 - ・学期に一回、各クラスの文化委員へ回収用の袋を渡し、集計作業をする。
 - ・学期ごとに、クラス別の収集結果を文化新聞に掲載する。
2. 映画鑑賞会の実施
 - ・各学期に一回行う。
 - ・文化委員でいくつかの映画の案を出し、その中から各クラスで一つ決めてもらい、多い順に3つの映画を上映する。※詳細は提案事項の2を参照。
3. 学園祭での生徒会賞の実施
 - ・文化委員会(ベルマーク収集)、美化委員会(美化コンクール)、図書委員会(本の感想)の点数をもとに、学園祭で表彰する。

◇体育委員会

【委員長】小山田 希丞

【副委員長】中野 遥菜

〈スローガン〉**エンスポ ～enjoy sports～**

〈活動内容〉

1. 体育大会の企画・運営
2. クラスマッチの企画・運営
3. 授業用ビブスの洗濯
→夏は1週間に1回、冬は2週間に1回行う
4. 体育倉庫の掃除・点検
→月1回行う
5. 体育用具の点検
→随時行う
6. 強歩大会の運営サポート
→必要な用具の出し入れを行う
7. 昼休みの体育館の見回り
→高2体育委員で行う
→利用状況が悪い場合は体育館の開放

自体を禁止にする

◇保健委員会

【委員長】川野 希実

【副委員長】森 陸翔

〈スローガン〉**3K**

～風邪なし、怪我なし、仮病なし～

〈活動内容〉

1. 冷水機の掃除
→月1回、各クラスの保健委員で実施する。
2. 消毒液・液体石鹸の補充
→液の量が全体の三分の一以下になり次第、補充する。
3. 全校朝礼など生徒が一度に同じ場所に集まる際に、入り口に消毒液の準備
→病気の蔓延を防ぐ。
※強制はしない。
4. 体育行事(体育大会やクラスマッチ)の朝礼時に、手の爪切りチェック
朝礼時に、各クラス保健委員がチェックする。
切っていなかった人を保健委員確認し、職員室へ爪を切りに行ってもらおう。
・指摘を受けた人は、すぐに職員室に切りに行く。
・爪切りを使用する時は、各学年団に使用許可をもらい、消毒液をつけて使用する。
切り終わったら保健委員に報告。
5. 保健行事(身体測定・歯科検診など)の補助
6. 体育大会・クラスマッチでの救護活動
7. 健康観察の実施
→朝礼時に各クラス保健委員が実施し、用紙に記入後担任に提出し、担任が職員室に提出する。
8. 空気清浄機の洗浄
→各学期の終業日に、保健委員で実施する。
9. 健康を呼びかける活動の実施
→手洗いやうがいなどを呼びかける。

◇図書委員会

【委員長】都留 朋子

【副委員長】森田 春香

〈スローガン〉**ライフのようなライブラリー**

〈活動内容〉

1. 本の貸出および返却
→各クラスの担当曜日を決め、当番表を各クラスに配布する。

当番に来ない場合は、生徒会賞の得点から減点するなどの対応をとる。未返却の生徒については、該当者のリストを取りまとめ、各クラスに配布する。

2. 要望のある本の購入

→図書館前に設置する用紙に読みたい本の題名を記入し、リクエストボックスに入れてもらう。

要望のあった本については、購入する。

3. 雑誌の付録の配布

→月1回、配布する付録について図書館前に掲示する。 ※希望者が多い場合は抽選。

4. 大掃除の実施

→長期休みの前に、普段は掃除することが出来ない本棚の上などを掃除する。

5. 開館時間帯

→●昼休み・・・12：45～13：05

●放課後・・・～17：50(月～金)、

～14：50(土)

◇広報委員会

【委員長】神志那 優汰

【副委員長】谷脇 優華

〈スローガン〉#拡散

～みんなが親しみやすい新聞を～

〈活動内容〉

1. 「生徒会活動報告書」の発行(不定期)
 - ・「生徒会活動報告書」を発行し、執行部や各委員会公約実現の進捗状況等を継続的に報告
 - ・各クラスの広報委員が各クラスに置かれたファイルに綴じて保存

2. 「新聞」の発行

- ・「新聞」は1カ月に1回発行する。
- ・学校行事や最近の話題など、内容は自由。
- ・他の委員会と連携してコラムなどを掲載する。
- ・各学年の広報委員に協力してもらい、各クラスに教室掲示する
- ・学園祭時期などに臨時号を発行する

3. 報道部との連携

- ・報道部に協力してもらって、写真などを添付する

◇ボランティア委員会

【委員長】馬渡 怜那

【副委員長】松本 結衣

〈スローガン〉スーパーボランティア

～岩田生協力大作戦～

〈活動内容〉

1. 空き缶の回収
 - ・各学年に回収ボックスを設置し、満杯になる前に各学年のボランティア委員がゴミステーションへ持って行く。
2. ペットボトルキャップの回収
 - ・ペットボトル回収ボックスの隣に、ペットボトルキャップ回収ボックスを設置。
3. 書き損じはがきの回収
 - ・職員室入口に回収ボックスを設置。各クラスのボランティア委員が回収する。
4. 募金活動の実施
 - ・UNICEFの「アフリカへの募金活動」(春)への参加。

- ・あしなが学生募金活動への参加。 ※希望者のみ

◇生活委員会

【委員長】衛藤 麗

【副委員長】今吉 楓

〈スローガン〉ABC計画

～Active (行動) Behavior (振る舞い) Challenge (挑戦) ～

〈活動内容〉

1. 自転車点検
 - 盗難防止のため、ツーロックを徹底。
 - 月2回、ツーロックやステッカーの検査。
2. 校内巡視の参加
 - 学校の風紀を向上させるため、先生に同行して参加。
3. 学園祭3日目の全校一斉片付けでのゴミ分別の協力
 - 効率化をはかるため、美化委員の活動に生活委員が協力して実施。
4. 登校指導及び下校指導
 - それぞれ月2回、指導部の先生と各クラスの生活委員で実施。
5. 服装チェック
 - 月2回、各クラス担任の先生に、化粧、髪型、服装を検査してもらい、中1・中2は各クラスのルーム長、中3以上は各クラスの生活委員が生活委員長に報告。
6. 生活面における執行部が掲げた公約を学校と交渉

第10回強歩大会を行う ～めざせ体力づくり～

体育科主任 阿部 順三

1月は「体力強化月間」として体育の授業で3分間走を取り入れて迎えた「強歩大会」も今年で10年目となりました。土曜日実施の今回、朝から更衣し体育館で諸注意を受け9時20分スタートとなりました。大分川東側河川敷をスタートし滝尾橋・弁天大橋下を折り返しゴールという、1周4kmのコースを男子は3周(約12km)、女子は2周半(約10km)のコースで行われました。当日は天気も良く強歩大会には適したコンディションで、中学1年から高校2年までの男女が一斉にゴール地点を目指しスタートしました。今回も大会を通して自分の体力や精神力と向き合う貴重な体

験ができたのではないかと思います。また昨年に続いて保護者会から、ゴールした生徒に温かいココア・コーンスープの炊き出しが用意され生徒には大変好評でした。今回も先生方や体育委員の生徒などの御協力により大会を無事終えることができました。また、寒空の下、応援してくださった保護者の皆様にも心から感謝申し上げます。



学園だより

APU・立命館コース 活動報告(1)

APUコース主任 荒金 正治

◆後期プレゼン大会について

1月23日(水)、本校大講義室にてAPU講座後期プレゼンテーション大会が行われました。4-4、5-4ではそれぞれ与えられたテーマに沿ってアンケート活動や調べ学習を行い、自分たちなりの結論を導き出しました。また5-4は英語による発表ということもあり、発表直前まで入念な確認をしていました。この活動を通じて、生徒たちは思考力・分析力・表現力など、これからの社会において必要になってくる力を養っています。今までの活動の総まとめとして5-4は特に立派な発表ができたと思います。また、4-4の生徒には今回の発表の経験を活かして、来年度はさらにステップアップしてくれることを期待しています。各学年のプレゼンについて、担当の先生方からのコメントです。

【APU講座Ⅰ(担当;吉本)】

○テーマ:「日本文化」～日本文化とその特徴を海外と比較しながら伝える。～
○目標:1学期で学んだ文献調査の知識をもとに、社会調査(量的調査)のスキルを身につける。また、前期プレゼンでの反省を生かし、作成・発表上の技術向上を図る。

○感想:今回初めて、生徒の意見を取り入れて「日本文化」をテーマにプレゼンを作成しました。このテーマでは単なる紹介に終わるのではないかと危惧していましたが、各グループとも、それぞれに深く調べ、色んな工夫を見せてくれました。発表スキルも、リハーサルに比べ、格段に上達していました。全員が、各自の発表内容を自分のものにしており、明るく力強いプレゼンをしてくれました。皆さん、お疲れさまでした。さらなるスキルアップを期待しています!
最優秀賞(深田, 渡邊, 江藤, 河野文, 指原, 横山) テーマ「寿司」
優秀賞(ガハソ, 石田, 加藤, 土田, 正木, 百瀬, David) テーマ「お正月」

【APU講座Ⅱ(担当;坂本)】

○テーマ:「スリムなムスリム知ってみたい」
2019年3月に行われるマレーシアへの修学旅行の前に、少しでもイスラムの文化・生活・習慣を学ぼうという目的で考えたテ

マです。

①イスラムの国や地域がどのように広がっているのか。

②様々なイスラムの国の人々と、どのようなプランで交流できるのか。

*各グループが様々なアイデアで交流のプランを提案しました。

○感想:イスラムの人々の生活や習慣を学び、それぞれのグループが独自の提案をして交流プログラムを考えようという趣旨のプレゼンでした。直前まで不安が払拭できないグループが多かったのですが、土壇場の力で何とか良いプレゼンに仕上げてくれたと思います。

以下は、それぞれのグループの内容です。

・グループA…“レバ盆”(対象の国はインドネシア。イスラムの人々の恒例行事ラマダン(断食)が明けた後のお祭り『イド・アル=フィトル』と日本のお盆を交流させたアイデアは秀逸でした。)

・グループB…“ナ、ヴォイフェス!!”(ウズベキスタンの人々の心に鮮烈な思いを残したのは、日本人捕虜達が建設したナヴォイ劇場でした。このエピソードを基に首都タシケントでの交流プログラムを考え、見事に最優秀賞を獲得しました。)

・グループC…“行こうぜ!関西~カタールの方々と共に~”(サッカー好きの生徒の提案で、次のワールドカップ開催地のカタールの人々に、関西に来てもらうという交流プログラムでした。プレゼンのクイズの景品として、手作りの籠を渡していました。)

・グループD…“パキスタン派遣団”(パキスタンの優美な伝統工芸ワックスペインティングをたった一人で守るペシャワール出身のファイヤーズ・アハマドさんに焦点を当て、そこに世界的に有名な京都の西陣織の職人と技術協力をするというユニークなアイデアが目を惹きました。優秀賞受賞。)

・グループE…“Maldives:The 7,567km Friendship story”(モルディヴでホームステイをしながら、日本とモルディヴ両国の習慣や文化を伝え合うという交流プログラムでした。美しい海が広がる情景の中で、ミスマッチのようにも思える和菓子が、とても融合しているように感じました。)

★最優秀賞 グループB(武生, 情野, 關, 森田, 胡)

★優秀賞 グループD(後藤は, 後藤里, 木下, 杉本, 西村, Aditi)

また、2学年全体の中から、Best question 賞に百瀬大毅君(4-4)、Best answer 賞に後藤はるさん(5-4)が選ばれました。



◆AFTER FOCUS について

6年4組の代表5名(片山, 古原, 高野, 牧坂, 松尾)が、夏休みにAPUにて行われた高校生SRサミットFOCUSの事後研修であるAFTER FOCUSを、立命館宇治高等学校他、複数の高校・高等専門学校とオンライン会議を行い、夏休み後の本校の取り組みについて報告しました。この発表に際し、1月12日には「イスラムの文化について知ろう」というプレゼンも中学1年生に行い、イスラム教の成り立ちや禁止されていることなどを説明し、ハラール食品を使った料理の試食もしてもらいました。今回この取り組みを通して、一つの問題を深く掘り下げて検討するだけでなく、その成果を発信する力も伸ばせたと思います。





生徒指導部より

生徒指導主任 野村 哲也

お子様が自転車通学している保護者の方々へ

2月某日の朝、8:20頃。本校近くの交差点で本校に自転車で通う高校生が車と接触するという事故がありました。自転車は大きく破損し、その生徒は救急車で運ばれましたが幸いにも軽いケガですんだようです。もし打ち所が悪ければ…車のスピードがもう少し遅ければ…別の車も走っていたら…と考えると本当に身に震えるような出来事だと思います。

このような事故がありましたので、本校に自転車で通っているご家庭におかれましては、最大の用心をして自転車通学に臨むように話し合いの場を設けて頂き

たいと思います。学校として遵守して頂きたい注意事項を記載しておきます。

● **朝は時間に余裕を持って登校しよう。**
遅刻ギリギリでスピードを出している時は余裕もなく事故に遭いやすいです。余裕を持つためには何時に起床するべきか、そして何時に家を出るべきか一度話し合ひましょう。

● **スピードが出るような作りの自転車に注意！**

ロードバイク等がとても流行っています。スピードを出していると、交差点での減速が面倒になり、つい飛び出してしまふことがあります。通学に適した自転車かどうか一度話し合ってください。

● **重い荷物の持ちすぎに注意！**

特にロードバイクの場合は自転車にカゴを付けることを嫌う傾向があり、荷物を背負ったりして通学している生徒を見かけます。重たい荷物を身につけての運転は、いざという時に操縦ミスを起こす原因となりますので、お子様の通学時の様子を一度ご確認ください。

● **ヘルメットを着用しよう。**

ヘルメットは見た目が悪かったり面倒臭いことを理由にほとんど着用する生徒がいませんが、万が一の時に命を守ってくれるとても大切なアイテムです。学校としましては着用をお勧めします。一度お子様と話し合ってください。

ほけんしつから

養護教諭 野村 めぐみ

1月～2月にかけてインフルエンザ・感染性胃腸炎が流行りつつありましたが、感染者が減少し落ち着いてきました。最近では試験前ということもあってか、睡眠不足からくる頭痛、ストレス性の腹痛などのお子さんが来室しています。しっかり体調管理をしながら学習に取り組んでください。

大分県内で風疹感染者2人！！

首都圏を中心に風疹の患者の報告が相次ぐ中、大分県内では男子大学生の患者が2名確認されました。大分県では、ワクチンの接種など感染予防の対策を行うよう呼びかけています。風疹は、くしゃみやせきで感染し、発熱や発疹などの症状が出るウイルス性の感染症で、妊娠中の女性が感染すると、赤ちゃんの目や耳それに心臓などに障害が生じるおそれがあります。風疹は、病院で抗体検査を行うこともでき、抗体が十分でない場合は予防接種を受けることをお勧め致します。

新保健委員長・副委員長の川野希実さん、森陸翔さんです。

全校生徒の健康維持のため1年間サポートしてくれます。二人は4年生の保健委員と共に消毒液・手洗い石けんの補充や冷水機等の掃除など毎日奮闘中です。1年間よろしくお祈いします。



APU・立命館コース 活動報告(2)

APUコース主任 荒金 正治

◆海外の高校生との交流会

1月25日(金)に、上海の文来高校と4年4組が交流会を行いました。提携校である文来高校からは毎年本校に編入してくる生徒がおります。交流会は本校生徒にとって異文化交流のよい機会となっています。今回も生徒有志のパフォーマンスの後、学校紹介をスライドで行いました。グループごとのフリートークの時間では、学校生活や互いの国の文化について会話が盛り

上がりました。アニメの話題で熱心に語り合っていたグループもありました。



まだまだ寒い日もありますが、いよいよ期末考査が目前です！
体調管理に気をつけて、ベストを尽くしましょう！！

APU・立命館コース 活動報告 (3)

6年4組担任 坂上 敦志

◆大学入学前研修

APUコース高3生は、大学入学後にスムーズに学習や生活に入れるよう、12月から2月にかけて、いろいろな研修が行われました。それらの研修の報告をします。

■APUキャンパス訪問デー (12/16・日)

APU進学予定の生徒は、終日APUでのガイダンスに参加しました。英語力診断テストを受け、その日のうちに結果が渡され、レベルごとに入学までの英語課題(オンライン学習)が設定されました。この課題は、入学後も継続して学習していくシステムになっています。また、入学までにやっておくべき英語学習の説明も受けました。英語以外では、国語は、高校までに学習した常用漢字、故事成語、慣用語などの復習と暗記をしておく。さらに、近現代文学を中心に文学史の復習をしておく。社会は、日本史や世界史の教科書を読み返して大きな流れを理解しておくことや、新聞を読む習慣を身に付けておくことなど、具体的な説明がありました。また、国際経営学部(A PM)へ進学予定の生徒には、数学の復習をしっかりとやっておくようにと説明もありました。この学部には数学の必修科目が設定されていて、卒業するためには、この単位を取得する必要があります。学習面の他に

は、生活面の自己管理ができるようにしておくこと、大学で何をしたいかを明確にしておくことなどの説明も受けました。

■事前ガイダンス (1/9・水)

立命館学園一貫教育部(京都)の職員1名と本校APUコース卒業生3名(APU生、立命館大生)に来て頂いての研修でした。職員の方からは、1・2月の大学入学前の時期がいかに大事であるか、またこの時期の心構えとして「終わり良ければ全て良し」を念頭に何事も真面目に取り組むことなどのお話がありました。そして一般入試で入学する学生よりも一歩先んじた状態で、大学生活をスムーズに始められるようにするという確認もありました。また、本校卒業生3名からは、入学後の生活や学習について、大学生の先輩からの視点で、具体的なアドバイスがありました。生活面ではサークル活動やアルバイト、一人暮らしをするための準備などの話がありました。学習面では、講義の履修申請や受講する時の注意などの説明がありました。本校卒業生による研修ということもあって、高3生も積極的に質問をし、大学生活での疑問点を解消しておりました。

■入学前教育 (1/28・月)

APUアドミッションズ・オフィスの職員

の方に本校に来て頂いて、大学卒業後の目標を考えることからスタートして、大学生活で身につけたいスキルややりたいこと、大学に入学するまでの2ヶ月間にやっておくことなどの計画を立てました。今回の取り組みを通して、大学入学を控えた生徒たちも進学に向けた意識が高まってきたと思います。

■立命館大学プレントランスデー (2/5・月)

立命館大学進学予定の生徒は、各キャンパス(京都、大阪、滋賀)で研修を受けました。午前中、一貫教育部の職員の方から入学前の心構えについての講話がありました。その後、各学部ごとに別教室に移動し、現役学生による学部別ワークが行われました。そこでは実際に講義で行われている問題を考えたり、グループに分かれて活動することを通して、入学前から進学予定者と活発に交流することができました。また、学部によってはオプション企画もあり、大学でどのような学習をするのか等について詳しく説明がありました。長時間の移動で多少の疲れはあったと思いますが、参加した生徒たちは思いを新たに、4月からの学生生活に向けて頑張ろうと決心しておりました。



(写真は昨年の卒業式)

第31回岩田高等学校 卒業証書授与式のご案内

早いもので今年も卒業式の季節となりました。今年の中高一貫校がはじまり27回目の高校卒業式となります。卒業生の保護者の皆さんは、ぜひご臨席下さいますようお願いいたします。

日時：3月1日(金)午前10時より

場所：本校体育館

(上履きをご持参下さい)

出席者

- ・卒業生(31回生)、卒業生の保護者、
- ・在校生(高2全員、他の学年は各クラスのルーム長・副ルーム長)、教職員

来賓

- ・立命館アジア太平洋大学、(学)立命館
- ・岩田学園同窓会「樟友会」
- ・岩田学園保護者会

<http://iwata.ed.jp/>

ホームページやブログでCheck!

能力の差は小さいが
努力の差は大きい

脚力尽くる時、山更に好し。
脚ける未来へ、全力でサポートします!



February 2019

大分市岩田町1-1-1

学校法人岩田学園

電話 097(558)3007

Fax 097(556)8937

Email iwata@iwata.ed.jp



21世紀の有為な人材を育成する

岩田中学校・高等学校